

札幌開発建設部における 「かわたびほっかいどう」の取り組みについて 令和6年度の取り組み内容と今後の展開

札幌開発建設部 河川計画課 佐藤 剣慎
鈴木 史郎

北海道開発局では第9期北海道総合開発計画における「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」の一環として、河川空間を活用した北海道発のツーリズム「かわたびほっかいどう」の取組を推進している。本報告では、札幌開発建設部における令和6年度の取組を紹介するとともに、自然環境・文化の保全と観光が両立した持続可能な観光地域づくりに向けた今後の課題と展開方針について検討を行った。

キーワード：かわたびほっかいどう、地域交流・連携、自然環境、広報

1. はじめに

国土交通省では、2030年(令和12年)に訪日外国人旅行者を6,000万人にまで増やす目標¹⁾を掲げており、令和6年3月に閣議決定された第9期北海道総合開発計画では、「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」を目指すものとしている。北海道開発局の河川部門では、四季折々の川の自然環境や景観、水辺の活動やサイクリング走行環境等の川に関する情報を効果的に発信し、地域住民や観光客の水辺利用や周遊をサポートする「かわたびほっかいどう」プロジェクトを平成29年度からスタートした。本取組は、単なる観光情報配信だけではなく、地域キーマンとのネットワークを通じた河川空間の魅力アップと水辺利活用の促進を重視しており、北海道らしい持続的な地域づくり・観光振興に貢献することを目指している(図-1)。「かわたびほっかいどう」WEBサイト²⁾では、全道の水辺イベントが集約、広報されている。本報告では、札幌開発建設部における令和6年度の取組を紹介するとともに、持続可能な観光地域づくりに向けた今後の課題と展開方針について検討を行った。



図-1 かわたびほっかいどうの概要

2. 地域の団体と連携した取組事例

札幌開発建設部の取組では、地域活動と「かわたびほっかいどう」が結びついている事例が数多くある。これらの取組について紹介する。

(1) 河川協力団体との連携

令和7年1月現在、札幌開発建設部では11の河川協力団体³⁾(以下、団体)が指定されており、各団体はそれぞれの活動計画に基づき河川管理に寄与する活動を自主的に行っている。なお、団体は、平成25年6月に公布された「水防法及び河川法の一部を改正する法律」において位置づけられている。団体は国から指定を受けることにより社会的な信用度が向上することや、活動に河川管理者の協力が得られやすくなることなどのメリットがある。

石狩川下覧櫓による川下り、夏の夕べ、水上体験学習

「石狩川下覧櫓」⁴⁾は、平成8年度に設立、平成26年3月に河川協力団体に指定された団体である。砂川遊水地管理棟や周辺を流れる石狩川を活用し、札幌開発建設部や空知シーニックバイウエイ、商工会議所、観光協会などと連携し、川下り体験や遊水地管理棟付近の駐車場を活用したイベントを実施してきた。新型コロナウイルスの影響が減少したことでイベントも予定通り開催できるようになり、令和6年7月に「かわたびほっかいどう」と連携して夏の夕べ、川下り、水上体験学習イベントを実施した(水位の上昇により川下りは中止となった)。また、夏の夕べ時に「砂川地区かわまちづくり」完成式も執り行われた。(写真-1)



写真-1 開催案内ポスターと当日の開催状況

NPO法人三笠森水遊学舎によるラフティングツアーサポートと第2回安全講習会の実施

「NPO法人三笠森水遊学舎」⁵⁾は平成18年1月に設立、平成31年3月に指定された団体である。地域を流れる幾春別川において、管轄する岩見沢河川事務所と連携して河川清掃や植樹活動を行っている。また、地元の三笠ジオパークと連携し、ラフティングツアーのサポートスタッフとしても活動している。また、北海道河川協力団体連絡会議「安全講習会分科会」において、昨年度に引き続き第2回安全講習会のリーダーとして講師を担い、河川を利用し活動する団体等への安全利用に寄与している。(写真-2)



写真-2 当日の開催状況

赤平ラブ・リバー推進協会共催の「市民防災体験会」での空知管内における地域活動の紹介

「赤平ラブ・リバー推進協会」⁶⁾は平成4年9月に設立、平成26年3月に指定された団体である。地域を流れる空知川において、管轄する空知川河川事務所と連携

SATOU kenshin, SUZUKI Shiro

して河川清掃や植花活動を行っている。また、地元で長年に亘り防災に関する活動を実施しており、令和6年9月には第16回市民防災体験会を開催した。同イベントには、空知管内の4高校、赤平市内の小中学校生約400人が参加した。防災等に関する体験イベントや建設DX実演、救出訓練、流域治水のパネル掲示、空知管内の地域活動、「かわたびほっかいどう」の紹介をする機会もあり、地元小中高生にアピールすることができた。(写真-3)



写真-3 当日の開催状況

(2) かわたびほっかいどう関連団体との連携

「かわたびほっかいどう」の取組推進において、各地域のイベントやツアー情報を収集し、河川事務所等と連携することで、さらなる取組の強化につながる事が期待されている。

三笠ジオツアー

(三笠ジオパーク推進協議会との連携)

三笠市は明治元年に幌内地区で石炭が発見されたことを契機に開拓された場所で、アンモナイトをはじめとする1億年前の生命の痕跡や石炭という大地の恩恵を受けた炭鉱町特有の文化を持つ。三笠市全体が三笠ジオパーク⁷⁾として指定され、ジオツーリズム、教育活動、保護活動等様々な施策が行われている。ジオツアーとしては年間20回程度が実施されている。「かわたびほっかいどう」の取組として、札幌開発建設部、岩見沢河川事務所、幾春別川ダム建設事業所と連携した各種ツアーを令和3年より実施しており、ラフティングツアー、ダム見学ツアー、ダムサイクルジオツアー、日本遺産である「炭鉄港」とも連携した各種ツアーを実施している。(写真-4)

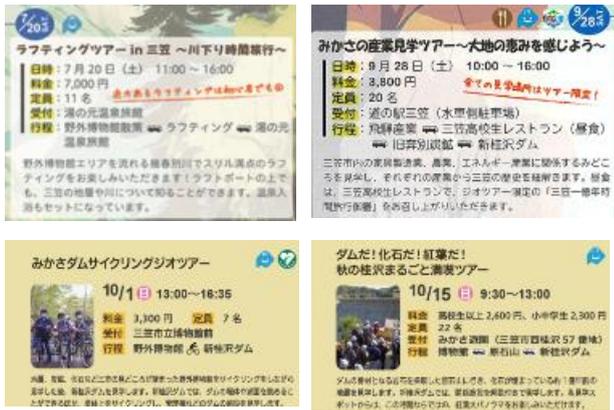


写真-4 開催チラシ

一般社団法人かあとの連携

～えにわ湖カヌー&ダム見学1DAY～

一般社団法人かあ⁸⁾は、非営利型の事業として小学生向けの野外活動、幼児期ファミリーを対象とした森遊びや環境保全、清掃等を中心に活動している団体である。「かわたびほっかいどう」との連携としては、年2回千歳川のRIVER CLEAN DAYとして、カヌーを利用した千歳川底の不法投棄物の撤去作業を実施し、法人のHPや「かわたびほっかいどう」HPで活動を動画等により継続してアピールしている。

今年度は、えにわ湖を活用したカヌー体験と漁川ダム見学を組み合わせたツアーを企画し、千歳川河川事務所と、ダム湖利用、搬入路、安全対策、ダム管理支所職員によるダム説明内容等の事前協議を行い、かわたびツアーを実施した。(写真-5)



写真-5 チラシと当日の様子

北海道カメラ女子の会との連携強化
北海道カメラ女子の会⁹⁾は、「北海道に住むカメラや写真好きな女性が緩やかにつながる」場をつくりたいとの思いから平成26年に活動を開始した会である。女性率、SNS活用率100%、現在の会員数は654名であり、北海道最大のカメラ女子のコミュニティである。同会は、市町村や企業とコラボして様々な魅力を冊子、SNS等で発信しており、令和3年度よりかわたびイベントに同行取材し、今までに15回の発信を行っている。

- ◆第一弾：空知川川下り体験&炭鉄産施設の見学ツアーに参加！
- ◆第二弾：石狩川クルーズ&川の博物館ツアーに参加！
- ◆第三弾：定山渓ダムでアイススケルセルを体験！
- ◆第四弾：三笠ラフティングツアー&野外博物館ツアーに参加！
- ◆第五弾：CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2023に参加！
- ◆第六弾：石狩川ひつじまつりに参加！
- ◆第七弾：開発局調査船「弁天丸」と江別河川防災ステーション見学ツアーに参加！
- ◆第八弾：新桂沢ダム・三笠ぼんべつダム見学会に参加！
- ◆第九弾：冬のオアシスパークでアイススケルセルを体験！
- ◆第十弾：セミナー「石狩川の治水を学ぶ」に潜入取材！
- ◆第十一弾：茨戸川周辺を巡る。見学学習に潜入取材！
- ◆第十二弾：石狩川の川下り体験&夏の夕べin砂川遊水地に参加！
- ◆第十三弾：すながわ冬まつり in 砂川遊水地に参加！
- ◆第十四弾：総合治水ってなに？現地視察会を取材！
- ◆第十五弾：えにわ湖ってどんな場所？カヌー&ダム見学を取材しました！

今年度は、2月の砂川冬まつり、6月の総合治水推進週間現地視察会、7月のえにわ湖カヌー&ダム見学1DAYのかわたびイベントについて同行取材、情報発信を行った。(写真-6)



写真-6 当日の様子

バスツアー会社との連携

「かわたびほっかいどう」の取組として、バスツアー会社と連携し、河川管理施設、ダム建設事業、ダム管理施設等の見学ツアーと併せた意見交換会を実施し、地域住民等を対象として治水事業への理解を深めるため、各事業のアピールを行った。6月に総合治水推進週間の現地視察会として川の博物館、弁天丸乗船、札幌市下水道科学館、望月寒川放水路、排水機場の札幌開発建設部職員や各施設管理職員による説明付ツアーを行い、7月と10月には幾春別川総合開発事業の新桂沢ダム、三笠ぼんべつダムの職員による説明と意見交換会のツアーを実施した。(写真-7)



写真-7 チラシと当日の開催状況

コミュニティスクール推進事業と「かわたびほっかいどう」との連携

札幌市では、保護者や地域住民等子どもに関わる人たちの意見を学校運営に反映させ、子どもの多様な学びや成長を支える取組として、コミュニティ制度の導入を始めている。取組では、学校、地域住民、保護者、町内会、PTA、企業・NPO、関係行政機関、社会教育施設団体等で構成される「学校運営協議会」を設立し、学校運営に必要な支援に関する協議を行い、義務教育期間の学びや育ちを充実させることとしている。

豊平川近傍の中央小学校では、これまでに地域連携協議会を立ち上げ、スクールバンド、ハロウィンイベント、スキー学習支援、水泳学習支援等を実施している。

今年度は、中央小学校の校区内にある建設コンサルタント会社が協議会に参画し、「かわたびほっかいどう」と連携「豊平川の冒険」という名称でイベントを実施した。今回の取組は、学校教育と「かわたびほっかいどう」が協働する初の取組となった。(写真-8)



写真-8 チラシと当日の開催状況

砂川遊水地イベントとの連携

砂川遊水地では砂川地区かわまちづくり計画が登録され、令和5年度にハード整備が完成し、令和6年度7月に完成式が開催された。「オアシスパークからゆめまちづくり協議会」が組織され、砂川遊水地と管理棟の活用に関する意見交換が活発に行われている。令和6年2月の砂川冬まつり実施に向け、実行委員会が結成され、青年会議所、上記協議会、観光協会、河川協力団体、滝川河川事務所等と事業連携し、イベントを実施した。雪山仮装滑り台コンテスト、食ベマルシェ、テントサウナ、アイスカルーセル、ワカサギ釣り体験、スノーラフティング、遊水地管理棟内での物販等「かわたびほっかいどう」として多数のイベントを実施した。(写真-9)

他の時期においても、石狩川下覧権⁴⁾を含め、THE祭り、防災フェスティバル、スイートマラニック等の各種イベントが開催されており、砂川遊水地周辺の河川管理施設等の活用を軸として「かわたびほっかいどう」との連携・協働が期待されている。



写真-9 チラシと当日の開催状況

3. 札幌開発建設部「かわたび運営会議」の開催

(1) 「かわたび運営会議」の開催

令和4年度に策定された「かわたびほっかいどう」実施要綱第5条に基づき、札幌開発建設部は運営会議を設置、3回目となる「かわたび運営会議」を開催した。同会議は、管内の各事務所等及び関係者との「かわたびほっかいどう」への取組・ノウハウに関する情報共有、札幌開発建設部としての「かわたびほっかいどう」への取組や、かわたび大賞候補に関する意見交換を目的としている。令和6年12月5日に札幌市内の会場で開催し、河川協力団体7団体、「かわたびほっかいどう」関連団体6団体、札幌開発建設部10課所から53名が参加し、(表-1)に示す9団体から発表があった。今年度は、札幌開発建設部としてのかわたび大賞候補を推薦するため、参加課所及び「かわたびほっかいどう」関連団体ごとに、プレゼン内容を継続性・連携性・先進性・創意工夫・効果・展開性を評価した。

表-1 プレゼンタイトル

	プレゼン団体等	タイトル
①	幾春別川ダム建設事業所 三笠ジオパーク推進協議会	三笠ジオパークの「かわたびほっかいどう」と連携した取組
②	滝川河川事務所 石狩川下覧櫻、鮎櫻井千田	砂川オアシスパークの利用
③	認定特定非営利活動法人 カラカネイトンボを守る会 あいあい自然ネットワーク	とんぼの学校(茨戸川)での川遊びを通じた自然と生き物とのふれあい活動
④	中央小学校地域連携協議会	豊平川の冒険 ～地域と未来とツナガル～
⑤	特定非営利活動法人 ふらっと南幌 江別河川事務所	「幌向自然再生地」での取組
⑥	一般社団法人かのあ 千歳川河川事務所	えにわ湖カヌー&ダム見学 1DAYツアー
⑦	江別河川事務所	「江別かわまち」 地域と連携した取組
⑧	特定非営利活動法人 三笠森水遊学舎	安全講習会分科会の取組
⑨	北海道カメラ女子の会	写真×女性で川の魅力を発見・発信！ 「かわたびほっかいどう」 さんとの取組

(2) 会議における意見

・川には近寄り難いというイメージがあり、川の利用を考えてその良さを発信することが大切になる。普段川に接する機会のない方々への配慮や安全への配慮は今後も重要になる。

・「かわたびほっかいどう」は、水辺の魅力を発信であり、これを第9期北海道総合開発計画の観光や地域振興に繋げていこうという動きになる。

・水辺の魅力を発信といっても川の魅力の中身がわからないと発信のしようがない。川の環境がどうなのか、川の歴史はどうか教育や科学に繋がり、それが地域活動になれば地域の個性、風土になる。

・川に関わる全てのことが「かわたびほっかいどう」に繋がる。「かわたびほっかいどう」の取組が文化になるまでは時間がかかる。

・写真、動画の技術が進んでいる。楽しそうな活動の様子が写真動画になり多くの方に見てもらえるようになれば良い。(写真-10)



写真-10 当日の様子

4. 「かわたびほっかいどう」に関する広報

情報発信については、「かわたびほっかいどう」HPにて全道的に集約し広報しており、札幌開発建設部管内に

において、令和6年12月23日現在261のイベント予定、イベントレポート、フォトレポート等が掲載されている。また、facebook・X・Instagramでイベントレポート等が165件が公開されている。

前述の北海道カメラ女子の会の「かわたびほっかいどう」関連のイベントレポートは昨年度3回公開されているが、HPとInstagram併せて約2,200回のアクセスがあり、Instagramでは21.7%の高いエンゲージメント率（エンゲージメント(いいね、保存、コメントの総数)/リーチ数(投稿を目にした人の数)）があり、ユーザーの共感を得られていると考えられる。

また、「かわたびほっかいどう」HPでかわたびマップを公開し令和5年度までに夕張川、幾春別川、空知川、雨竜川、石狩川下流域の見る・撮影する(ビューポイント)や、学び、体験等5項目331地点を掲載済みであり、令和6年度については、千歳川流域の約150地点、掲載写真350枚程度を予定している。(写真-11)



写真-11 かわたびマップと掲載地点

5. 今後に向けて

河川協力団体活動や民間活動団体の中で、資金不足・人材不足・情報不足により「かわたびほっかいどう」の活動に至っていない事例や、後継者に課題を抱えている団体が多数ある。このような状況に対し、以下のような解決策が考えられる。

(1)河川管理施設を活用したかわたびツアー等の実施検討

前述の砂川遊水地における地元青年会議所等と連携・協働したアイスカルーセル等のイベントのように、遊水地やダム等の河川管理施設を活用したイベントを検討・実施する。

(2)学校教育に関する施策、地域イベント団体、既存イベント団体との連携・協働

今年度実施した中央小学校地域連携協会との連携・協働の取組は、これまで各地域で実施してきている「川塾」の延長線にある取組と言える。このような地域団体や既存の取組との連携を進めることが重要である。

(3)かわまちづくりとの連携

昨年、石狩川流域では、砂川地区かわまちづくり、恵庭かわまちづくりの完成式を実施した。砂川地区かわまちづくり箇所では以前より、石狩川下覧権等と連携し、かわたびのイベントを行ってきた。砂川地区は来場者数も多く賑わいのあるイベントが行われている一方で、恵庭箇所では活気あるイベントを行っていないのが現状である。恵庭箇所でも砂川地区同様に「かわたびほっかいどう」に資するイベント等を行っていけるよう検討していきたい。

6. まとめ

本稿では、札幌開発建設部における「かわたびほっかいどう」の取組の一部について紹介した。これらの取組は、地域の各団体の活動や連携がベースとなっているが、単にツアーやイベントを実施するだけではなく、地域の団体と「かわたびほっかいどう」の連携による地域振興への相乗効果も期待されている。水辺には地域特有の資源が眠っており、新たな価値を生み出す可能性を秘めている。札幌開発建設部としては、関係機関や地域のキーマンとのネットワークの構築や、連携強化により、魅力的な水辺空間の創出や情報発信による利活用の促進を行っていきたい。

参考文献

- 1)国土交通省官公庁(2020):観光ビジョン実現プログラム2020-世界が訪れたい日本を目指して-, <https://www.mlit.go.jp/kankochou/content/810001029.pdf> (最終閲覧日2025年1月9日)
- 2)かわたびほっかいどう: <https://kawatabi-hokkaido.com/> (最終閲覧日2025年1月9日)
- 3)河川協力団体:国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/rcg/01.html> (最終確認日2025年1月9日)
- 4)石狩川下覧会: <https://www.facebook.com/people/石狩川下覧会/100064868040973> (最終確認日2025年1月9日)
- 5)NPO三笠森水遊学舎, <http://wm6.tiki.ne.jp/h-forest/> (最終確認日2025年1月9日)
- 6)赤平ラブ・リバー推進協会: <https://uemurakk.wixsite.com/riverroad> (最終確認日2025年1月9日)
- 7)三笠ジオパーク: <https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/geopark/> (最終確認日2025年1月9日)
- 8)一般社団法人かのあ: https://gh-canoa.com/ichi_canoa/index.html (最終確認日2025年1月9日)
- 9)北海道カメラ女子の会: <https://hokkaido-camera.com/> (最終確認日2025年1月9日)